

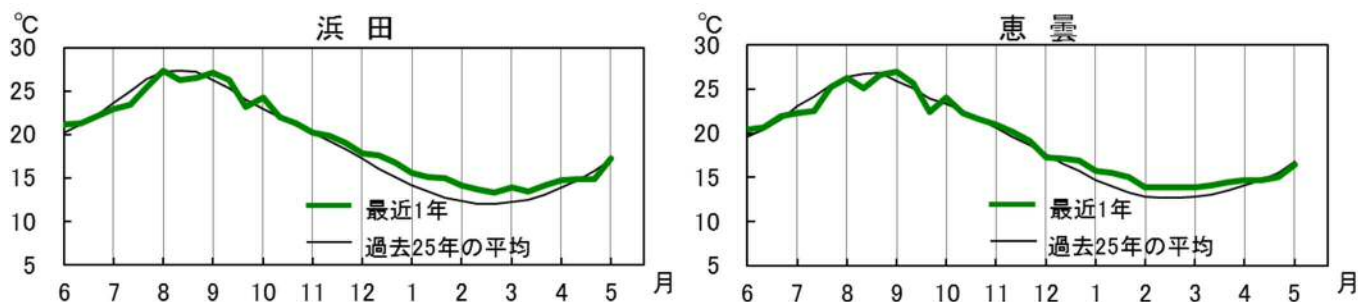


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	14.8°C	±0.0°C	やや高め	14.8°C	+0.1°C
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	やや低め			平年並み		



## 《4月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は4.9トンで平年を大きく下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは41トンで平年の2割、サバ類は7.8トンで平年の1割未満でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は65トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マイワシは3,588トンで平年の1.9倍、マアジは2,536トンで平年の9割、サバ類は2,348トンで平年の2.0倍でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の99%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は362kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は148kgで平年を上回りました。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではスルメイカ、キダイ、カワハギ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は14.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の1.4倍、キダイは平年の9割、カワハギ類は平年の3.5倍でした。その他、ソウハチは平年の1.3倍、マトウダイは平年の3.6倍、エソ類は平年の2.5倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の8割、ケンサキイカは平年の8割、アナゴ・ハモ類は平年の9割、アカムツは平年の6割の水揚げに留まりました。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は189トンでした。1統1航海当りの漁獲量は863kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の1.1倍、ソウハチは平年の7割、ヒレグロは平年の2割でした。操業日数が平年の半分程度であったことも影響し、その他、ハタハタは平年の1.0倍、アカムツは平年の5割、アナゴ・ハモ類は平年の6割、アンコウは平年の4割の水揚げに留まりました。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は18.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の1.1倍でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は14.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.4倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は12.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は46kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ヒラマサは平年の1.5倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は37kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の5割でした。

【令和2年4月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	54トン	15%	10%	4.9トン	34%	19%	▲
	隠岐	マイワシ、マアジ、サバ類	8,714トン	114%	121%	65トン	90%	98%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	2.2トン	12,056%	13%	362kg	2,009%	136%	○
	西郷	スルメイカ	3.7トン	73%	39%	148kg	172%	138%	◎
沖合 底びき網	浜田	スルメイカ、キダイ、カワハギ類	314トン	78%	105%	14.3トン	60%	85%	▲
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ	189トン	61%	54%	863kg	128%	115%	◎
定置網 (大型)	出雲	ブリ	243トン	109%	91%	18.7トン	109%	89%	○
	石見	ブリ	44トン	85%	62%	14.8トン	114%	79%	○
	隠岐	ブリ	36トン	90%	35%	12.1トン	90%	35%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ	47トン	63%	62%	46kg	107%	101%	○
	石見	ヒラマサ	23トン	52%	64%	28kg	89%	109%	○
	隠岐	ブリ	21トン	87%	68%	37kg	144%	114%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
 「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
 「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
 「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ